

【中央設計技術研究所下水道部 丸山拓巳さん 暮らしに欠かせない仕事を】

暮らしに欠かせない仕事を



中央設計技術研究所
下水道部

丸山 拓巳さん

■お客さまとともに
土工費を縮減

私は、就職活動サイトで建設コンサルタントの求人募集情報を調べている中で、中央設計技術研究所のことを知り、人の暮らしに欠かせない「水」の仕事をしてみたいと思ったことが、入社をきっかけでした。また、福利厚生が手厚いことも魅力的でした。

今の仕事は、主に下水道管きよの設計です。下水道管を布設するに当たって、いくつかルートを選挙げて、その中からできるだけだけ布設延長が短くなる、あるいは埋設深度が浅くなるなどして、なるべく土木工費が安くなるルートを選定する。そのようなことを考えていくことが楽しいですね。そして、コストを縮減できたことをお客さまに認

めていただき、ご納得していただいたときに手応えとやりがいを感じます。

今年5月、珠洲市で震度6強を記録する大きな地震がありました。地震発生後、市内の下水道では処理場に流入する浸入水の水量が増え、大変困っておられます。この不測の事態にも、明水調査の業務にも今、携わっています。災害復旧支援業務もやりがいを感じられる業務です。

■福利厚生が
非常に充実

下水道管の布設に関して、さまざまな法令や基準等があるので、学ぶことが多いです。上司や先輩にたくさん質問して、たくさん勉強する毎日ですね。

当社は、階層別研修を

定期的に行うなど、社員教育の場を多く設けています。技術士の資格取得に関しても、例えば技術士受験を対象とした講義では、技術士合格者が講師となり、論文作成等の受験テクニックのみならず、受験における心構えも教えています。

えや技術士に求められる資質能力等も講義するため、聞いていて大変ためになります。

当社は働き方改革やワークライフバランスの推進等にも積極的に取り組んでおり、本社がある金沢市から「はたらく人」にやさしい事業所」の表彰も受けています。

有給休暇を取りやすい環境にあり、運営する温泉旅館を割引価格で利用できるなど、福利厚生も充実しています。

仕事柄、全国各地の自治体の方とコミュニケーションを取りますので、人と話すことが楽しい、全国各地に行ってみたいという方は、特に向いているのではないのでしょうか。専門知識がない方も、先輩たちが熱心に教えますので、当社への入社をぜひとも考えてみてください。

